

令和4年度

**松江県土整備事務所
主要事業等説明資料**

令和4年8月

<構成・目次>

[道路]	P1~5
①一般国道431号 松江北道路<高規格道路>	
②一般国道431号(万原工区)	
③一般国道432号(古志原・大庭BP工区)	
④一般国道431号(森山西工区)	
⑤一般国道431号(大野2工区)	
[街路]	P6~7
①都市計画道路 松江熊野線(新大橋・鍛冶橋工区)	
②都市計画道路 揖屋馬潟線(2工区)	
[河川]	P8
・一級河川斐伊川水系 中川	
[砂防]	P9~10
①砂防事業 柿谷D・野波D	
②急傾斜地崩壊対策事業 石野E地区	
[維持・管理]	P11~12
インフラの強化・修繕の取組	
・災害防除事業の推進	
・橋梁耐震補強事業の推進	
[中山間整備]	P13
・安来地区 中山間地域農業農村総合整備事業	

[水利]	P14
・西潟ノ内地区 水利施設等保全高度化事業	
[ほ場整備]	P15~21
①西谷上地区 農業競争力強化農地整備事業	
②大野地区 農地中間管理機構関連農地整備事業	
③吉田地区 農業競争力強化農地整備事業	
④宇賀荘第三地区 農業競争力強化農地整備事業	
⑤下山佐地区 農地中間管理機構関連農地整備事業	
⑥古曾志地区 農地中間管理機構関連農地整備事業	
⑦飯梨地区 農業競争力強化農地整備事業	
[ため池整備]	P22~23
①井頭2号地区 農村地域防災減災事業	
②寺領地区 農村地域防災減災事業	
[農道整備]	P24
・大郷地区 農村地域防災減災事業	
[地すべり]	P25
・農地地すべり対策の推進	
[治山事業]	P26
・山地災害対策の推進	
[林道整備]	P27
・上来待線 林業専用道路整備事業	
[危機管理]	P28~29
・①防災訓練 ②点検	

一般国道431号 松江北道路

全体事業費 26,100百万円
R4当初予算額 396百万円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）0%

- ・松江北道路は、境港出雲道路（高規格道路）の一部を構成するとともに、平成25年3月に開通した松江だんだん道路と一体的に、松江市街地の外環状道路ネットワークを形成する道路です。（延長10.5km）
- ・今年度は、工区全線において、測量・調査・設計を進めます。

【事業箇所】

にしはまきだちょう
松江市西浜佐陀町
しもひがしかわつちよう
～松江市下東川津町



【R4事業内容】

- ・測量、調査、設計



【期待される整備効果】

- ・市街地の外環状道路を形成することにより、松江市街地の渋滞緩和が期待されます。
- ・市街地の浸水想定区域を回避することにより、災害時の代替路が確保されます。
- ・沿線地域から山陰道へのアクセス向上により、居住性の向上や観光振興への寄与が期待されます。

一般国道431号（万原工区）

全体事業費 1,640百万円
R4予算額 140百万円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点） 61%

- ・ 国道431号は、島根県出雲市から鳥取県米子市を結ぶ広域幹線道路です。
- ・ 事業箇所は、万原地区の連担区間であるが、車道、歩道ともに狭く大型車の離合が困難なほか、歩行者等と自動車とが交錯する危険な状況を回避するため、バイパス方式による道路改良を行います。
- ・ 今年度は改良、舗装、承水路堤の護岸工を行います。

【事業箇所】

ながみちよう
松江市長海町～
みほのせきちよう しもうべお
美保関町下宇部尾



①危険な現道



②バイパス全景

【R4事業内容】

- ・ 改良・舗装・護岸工

【期待される整備効果】

- ・ バイパスによる通行車両のシフトにより、万原地区の安全・安心な道路を確保します。
- ・ 中海北部周遊サイクリングコースの一部であるため、路肩幅員を広げて自転車の走行をスムーズにします。
- ・ 災害時の物資輸送路／避難路の確保により、第一次緊急輸送道路としての機能強化が図られます。

一般国道432号（古志原工区・大庭バイパス工区）

全体事業費 14,800百万円
R4 予算額 600百万円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点） 74%

- ・ 国道432号は、1日あたり12,000台程度に達しは朝・夕には渋滞が発生するものの、歩道整備が十分でないため歩行者・自転車の通行に支障が生じているため、車道・歩道の整備をおこなっています。
- ・ 今年度は、松江市街地方面から道路拡幅・歩道整備工事および八雲町方面から用地調査を進めます。

【事業箇所】

松江市古志原
～松江市佐草町



【R4 事業内容】

- ・ 電線共同溝工、舗装工
用地調査、文化財調査



①事業前（上口バス停付近）



②供用区間（光泉寺観音堂付近）



【期待される整備効果】

- ・ 松江市街地の渋滞緩和が期待されます。
- ・ 電線類の地中化と併せて、歩行者・自転車の安全な通行を確保します。

一般国道431号（森山西工区）

もりやまにし

R4新規

全体事業費 2,600百万円
R4予算額 60百万円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）0%

- ・国道431号は、島根県出雲市から鳥取県米子市を結ぶ広域幹線道路です。
- ・事業区間の現道は、幅員が狭く急カーブが連続し、大型車の離合が困難なため、トンネルを含むバイパス方式の道路改良を行います。今年度は測量・調査・設計を進めます。

【事業箇所】

みほのせき ちょう もりやま
松江市美保関町森山



【R4事業内容】

- ・測量、調査、設計

【期待される整備効果】

- ・連続の急カーブが解消され、安全・安心な交通を確保します。
- ・災害時の物資輸送路／避難路の確保により、第一次緊急輸送道路としての機能強化が図られます。

一般国道431号（大野2工区）

全体事業費 390,000千円
R4 予算額 50,000千円

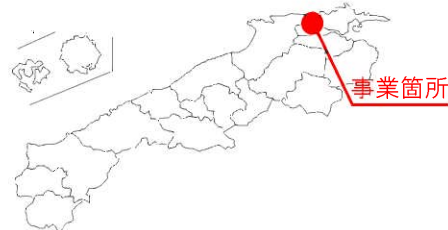
事業進捗率（R3末時点） 8.5%

【事業概要】

- ・ 国道431号は、出雲市と松江市を結ぶ広域幹線道路であり、通勤車両や大型車両の通行が多い路線である。
- ・ 当該区間は歩道が未整備となっており、本事業において歩道・路肩を整備し歩行者の安全を確保し安心して通行できる歩行空間を確保するものである。

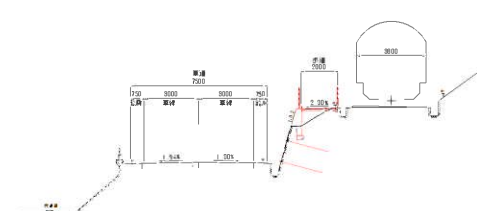
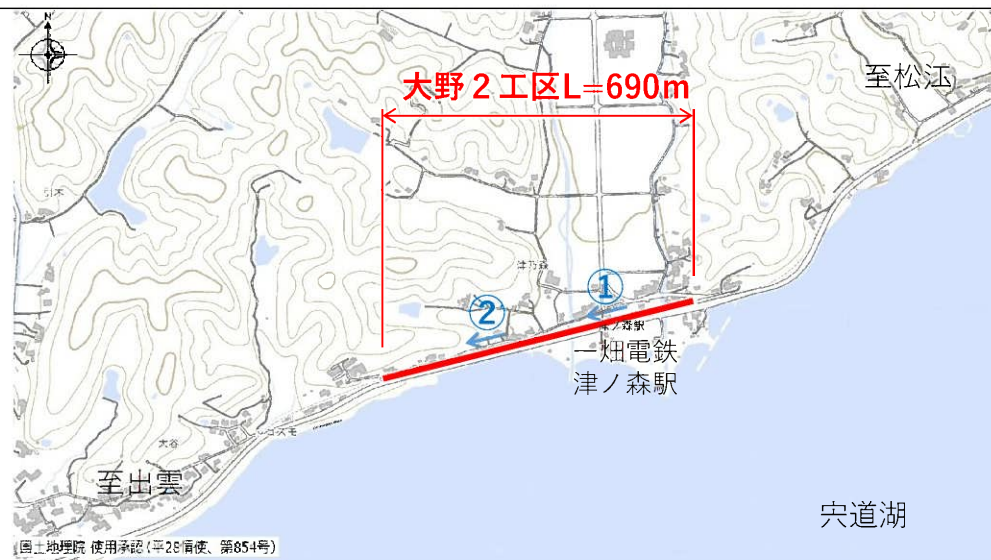
【事業箇所】

松江市大野町地内



【R4 事業内容】

- ・ 用地補償一式



【期待される整備効果】

- ・ 国道を挟んで南北を往来する歩行者の安全が確保される。
- ・ 出雲市境にある障害者支援施設利用者の歩行訓練等の屋外活動に際しての安全が確保される。

まつえ くまの しんおおはし かじばし
(都) 松江熊野線 (新大橋・鍛冶橋工区)

全体事業費 11,000,000千円
R4 予算額 103,000千円

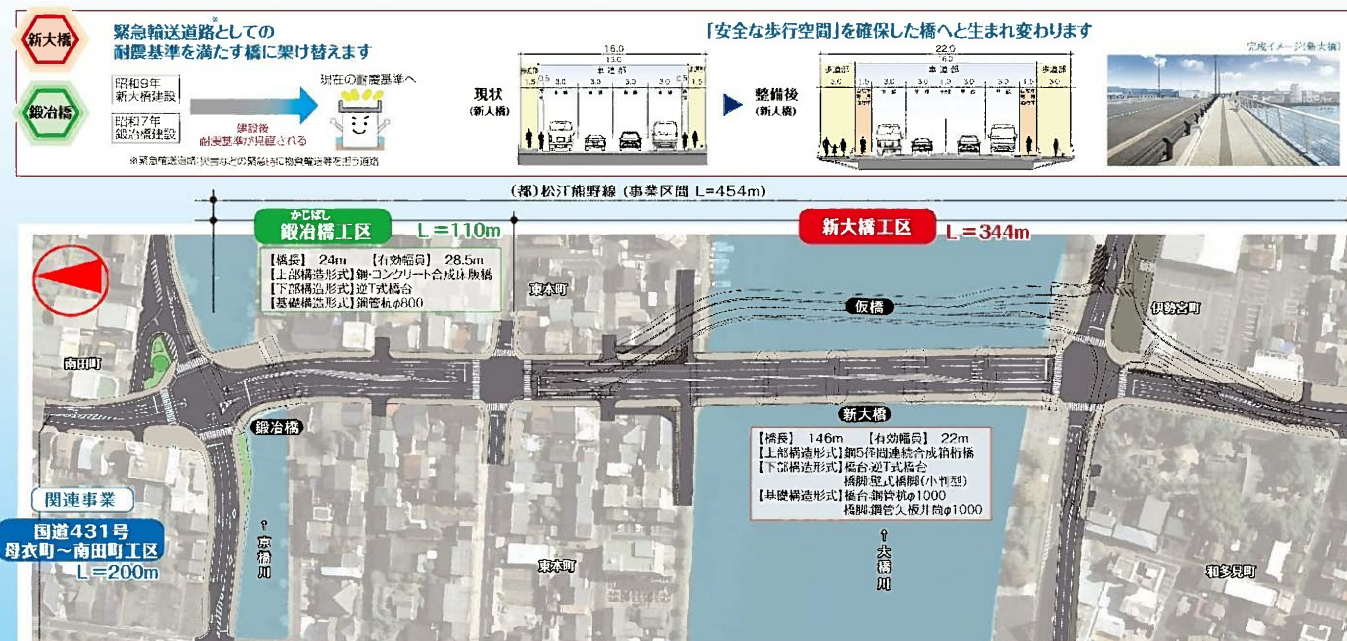
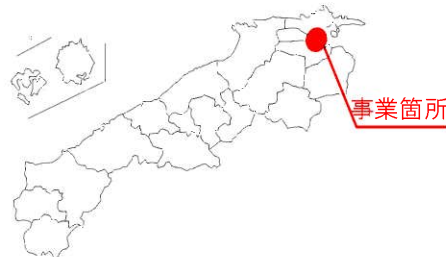
【事業概要】

事業進捗率 (R3 末時点) 15.6 %

- ・新大橋、鍛冶橋は、松江市の南北を結ぶ緊急輸送道路の橋梁であるが、両橋梁とも架設後約90年が経過しており、現在の耐震基準を満たす新橋として架け替えるものである。
- ・当該橋梁は、歩道幅員が1.5mと狭く、歩行者と自転車が混在している状況であることから、安全な通行空間を確保するため、歩道を拡幅し、新たに自転車専用通行帯を設置します。

【事業箇所】

松江市南田町～伊勢宮町地内



【R4 事業内容】

- ・本工事(鍛冶橋) 1 式
- ・用地補償 1 式
- ・調査設計 1 式

【期待される整備効果】

- ・耐震基準を満足する橋梁に架け替えることにより、平時より緊急輸送道路の耐災性を高め、災害発生時ににおける緊急車両の円滑な輸送が確保される。
- ・歩道の拡幅及び自転車専用通行帯の新設により、歩行者や自転車利用者の安全な通行空間が確保される。

い や ま か た
(都) 揖屋馬潟線 (2工区)

R4新規
(2工区)

全体事業費 1,400,000千円
R4予算額 60,000千円

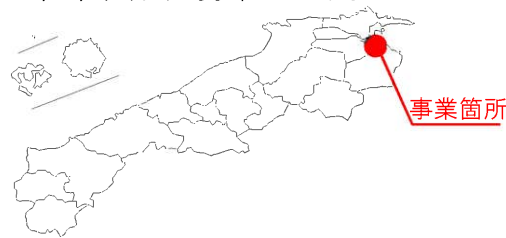
【事業概要】

事業進捗率 (R3末時点) 0%

- ・(都)揖屋馬潟線は、東西方向の主要幹線道路である国道9号及び安来道路を補完する機能をもつ、松江市東出雲町内の幹線道路である。
- ・当該路線は、国道9号及び(都)崎田新町線のバイパス機能を有するため、松江市東出雲町中心市街地への通過交通を分散させ、都市内交通の円滑化、歩行者等の安全性の確保及び産業活動の支援を図る目的で整備する。

【事業箇所】

松江市東出雲町揖屋地内

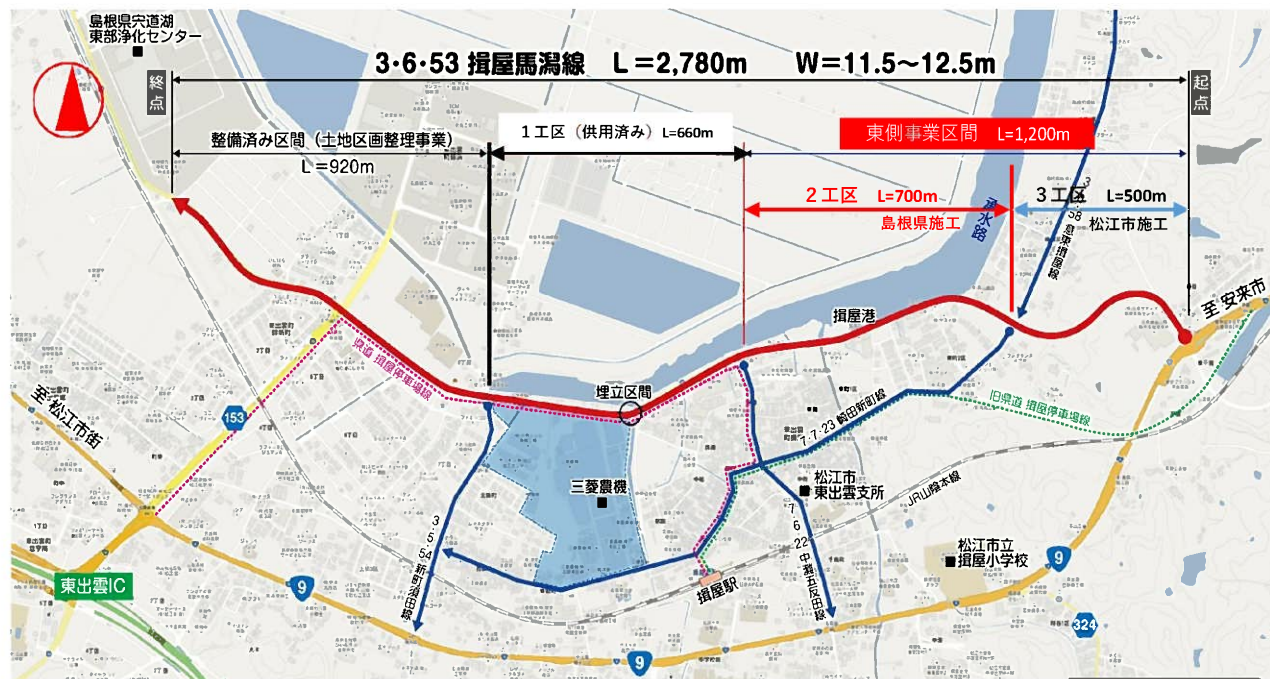
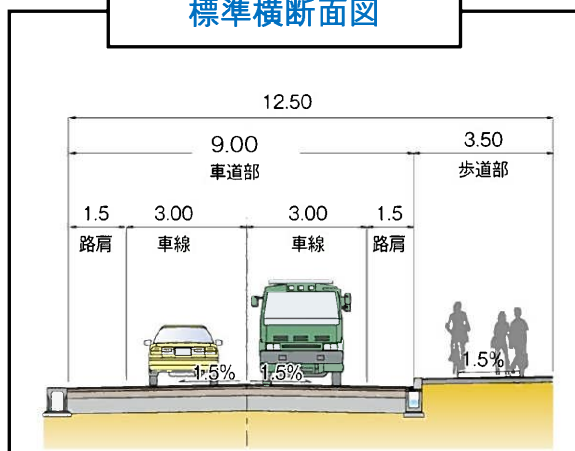


事業箇所

【R4事業内容】

- ・本工事 1式

標準横断面図



【期待される整備効果】

- ・当該路線を整備することにより、松江市東出雲町中心市街地への通過交通を排除し、国道9号の慢性的な交通渋滞の緩和が期待される。
- ・市街地を通過する交通を分散させ、市街地の歩行者や自転車の安全確保及び防災機能の向上が図られる。

ひいかわ
斐伊川水系

なかがわ
中川 (防災安全交付金事業・大規模特定河川事業)

全体事業費 8,180,000千円
R4 予算額 160,000千円

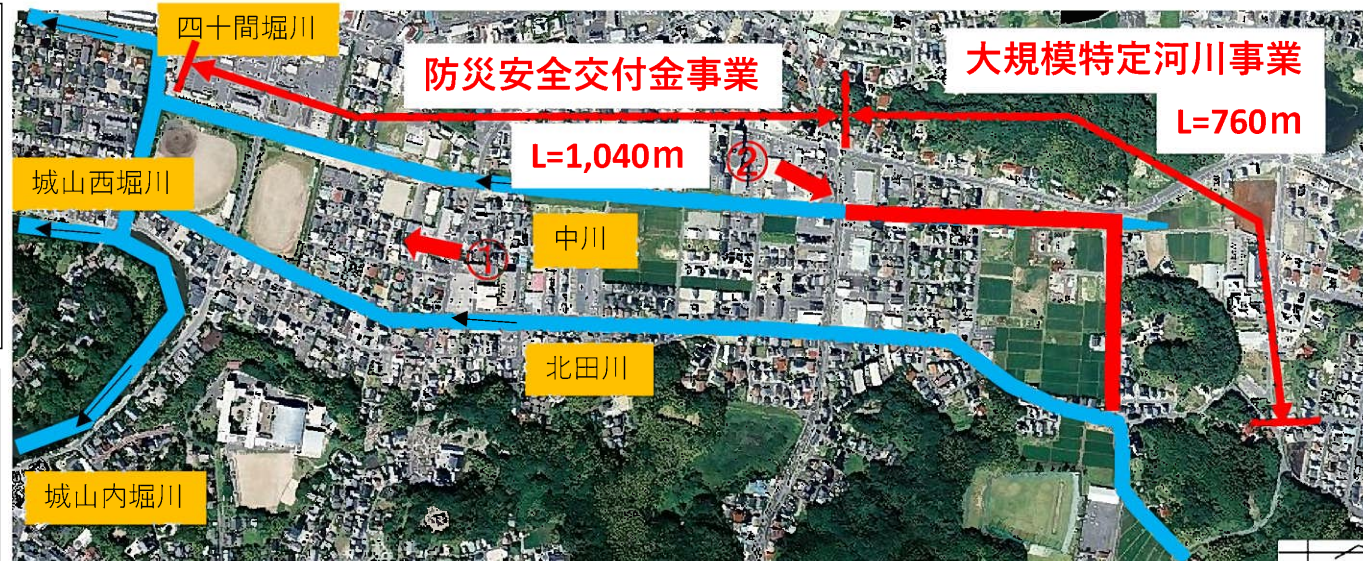
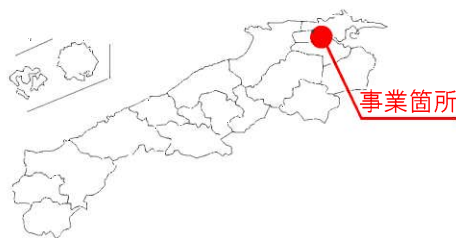
【事業概要】

- ・中川は、河道が狭小なため毎年のように浸水被害が頻発しており、特に昭和47年の梅雨前線豪雨では浸水面積66ha、床上浸水168戸、床下浸水412戸、近年では平成18年に浸水面積20ha、床上浸水6戸、床下浸水88戸の甚大な被害を被っています。
- ・このことから、家屋浸水解消のため平成18年洪水に対応した河川断面を確保し、併せて上流域において、放水路を整備することにより流域全体の治水安全度を早期に向上させます。

事業進捗率 (R3末時点) **71.4%**

【事業箇所】

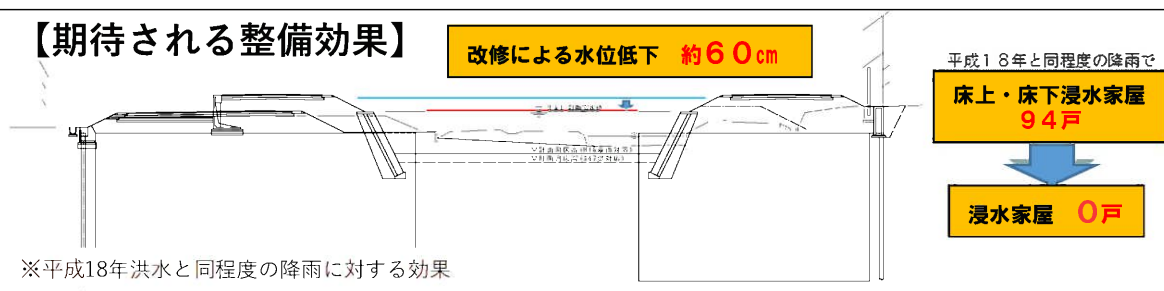
松江市黒田町～春日町地内



【R4 事業内容】

- ・用地補償一式
- ・橋梁上部工1橋
- ・橋梁下部工1橋

【期待される整備効果】



平成18年洪水時の状況



医療・福祉拠点の保全 ^{かきたに}（柿谷D・^{のなみ}野波D）（事業間連携砂防等事業等）

全体事業費 300百万円
R4 予算額 15百万円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）19%

- ・ 柿木D及び野波D（松江市島根町野波）は、山腹の浸食や荒廃が進んでおり、土砂災害警戒区域（土石流）の区域内に介護老人福祉施設をはじめ、（主）松江鹿島美保関線などの保全対象も在ることから、土石流や流木対策として砂防堰堤2基の整備を進めます。今年度から、用地買収に着手します。

【事業箇所】

松江市島根町野波 ^{のなみ} 柿谷D
野波D



【R4 事業内容】

- ・ 用地測量、用地買収

【期待される整備効果】

- ・ 医療福祉拠点である24時間滞在型の要配慮者利用施設と（主）松江鹿島美保関線の安全確保が期待されます。



医療・福祉拠点の保全 ^{いしの}（石野E地区）（急傾斜地崩壊対策事業）

全体事業費 120百万円
R4 予算額 5百万円

事業進捗率（R3末時点） 10%

【事業概要】

- ・石野E地区（松江市東持田町）は、がけ高約26m・勾配30～40°の急傾斜地で、斜面が土砂化して不安定な状況であることから、今後豪雨の際には、**がけ崩れが発生するおそれ**があります。
- ・同地区は土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）で、老人保健施設（要配慮者利用施設）などの保全対象が在ることから、**急傾斜地崩壊防止施設の整備を進めます。今年度は、測量・調査・設計に着手します。**

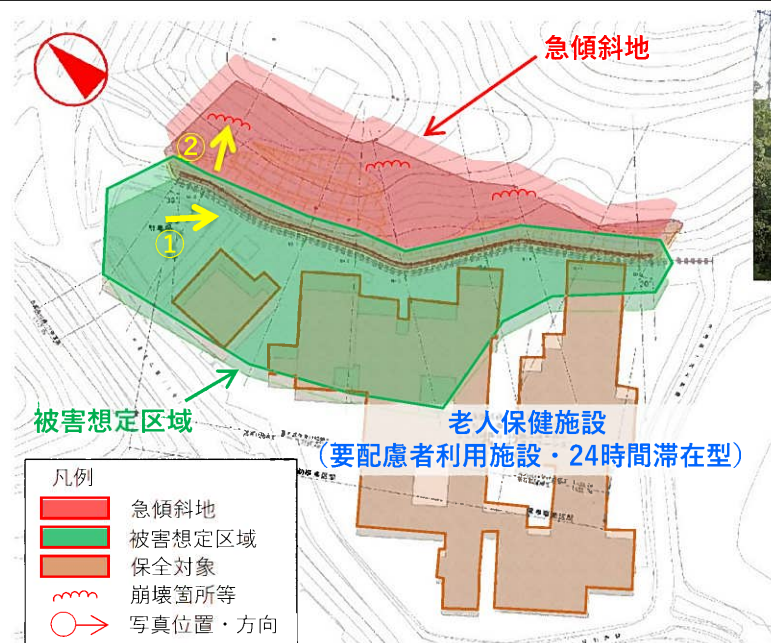
【事業箇所】

ひがしもちだちょう

松江市東持田町



石野E地区



老人保健施設



【R4 事業内容】

- ・測量、調査、設計

【期待される整備効果】

- ・医療福祉拠点である**24時間滞在型の要配慮者利用施設の保全**により、**入居者（収容人員100名）の安全確保**が期待されます。



災害防除事業の推進

R3当初予算額 13,000千円
R3補正予算額 61,000千円
R4当初予算額 84,000千円

【主要事業】

- ・落石対策は、「第1段階」として「緊急輸送道路」で令和2年度からの10年間で優先して対策を行います
その後、落石頻度の高い直径30cm未満の石を対象に残りの箇所について対策を行います
- ・管内の要対策箇所は207箇所（うち緊急輸送道路の要対策箇所39箇所）
- ・島根県全体で対策を必要とする箇所は、3,748箇所（R2.12現在）

【事業箇所】 松江市

【R4施工予定路線】 国道431号

【R4年度事業内容】

- ・工事 3箇所
 - 落石防護柵設置 2箇所
 - 落石防止網設置 1箇所
- ・測量設計 3箇所
- ・用地測量 2箇所
- ・道路防災点検



橋梁耐震補強事業の推進

くにびき大橋耐震補強事業

R4予算額 65,000千円

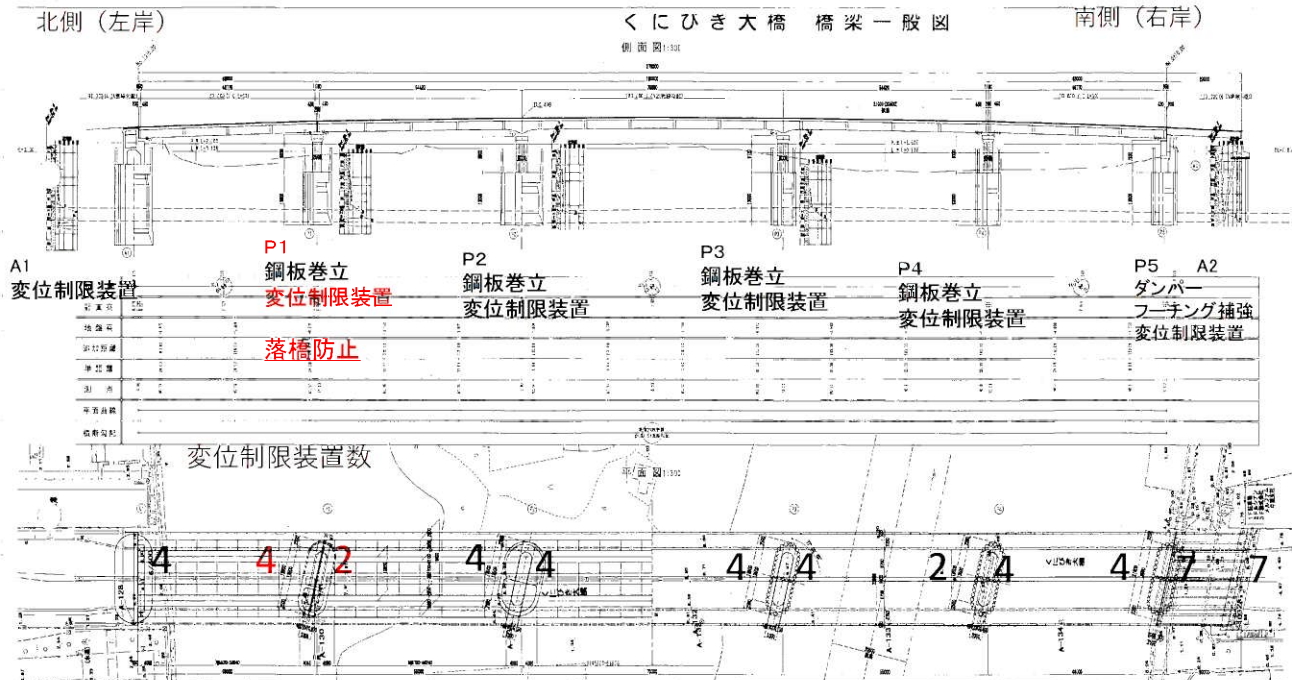
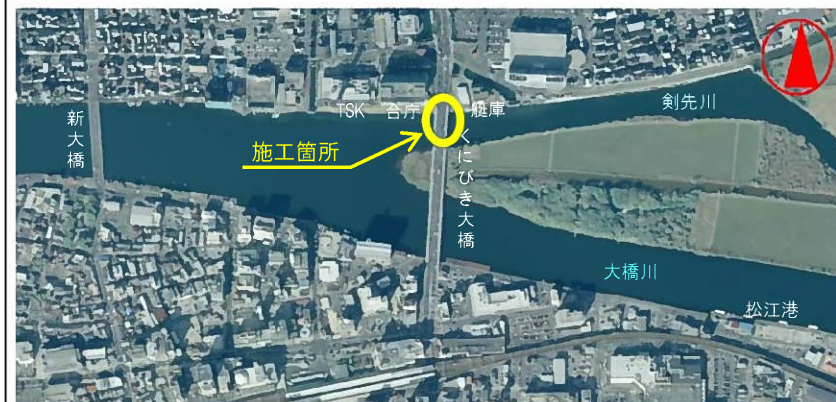
R5予算額 15,000千円

【事業概要】

今年度は、①くにびき大橋 ②桑並川橋（八雲町）の耐震補強工事を実施します。

①阪神淡路大震災直後、平成8年度からの落橋防止（P Cケーブル連結、沓座拡幅）に始まり、平成14年道路橋示方書の改定による大規模な耐震補強工事を進めています。
現在までにP 1橋脚を除く耐震補強工事が完了しています。
今年度、P 1橋脚の落橋防止（変位制限装置）を設置し、①については一連の耐震補強工事が完了します。

②落橋防止及び橋脚補強等を行います。（写真等未掲載）
今後、原発避難路、緊急輸送道路の橋梁を優先に、順次、耐震補強工事を進めます。



安来地区 中山間地域農業農村総合整備事業

全体事業費 1,279,300千円
R4予算額 130,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点） 6.6 %

・本地区の農地は、狭小な区画であることから、大型機械導入の妨げとなっている。また、用水路は未整備で土水路が多く、既存水路は老朽化しているため、営農に支障を来している。このため、農地や農業水利施設等の農業生産基盤整備と農業集落防災安全施設整備を一体的に行い、中山間地域の特色を活かした農業を確立する。

【事業箇所】

安来市
広瀬町・伯太町



暗渠排水整備後



【事業計画】 R3～R9

- ・農業用排水施設 5路線 (2,070m)
- ・ほ場整備 12団地 (62.3ha)
- ・暗渠排水 3団地 (18.7ha)
- ・集落防災安全施設 4箇所 (4基)

【R4年度事業内容】

- ・用水路工事 1路線
- ・ほ場整備工事 3団地
- ・防火水槽設計 1箇所

【期待される整備効果】

- ・農業生産基盤を整備することにより、集落営農組織等への農地集積の促進、労働時間の短縮や営農経費節減等による効率的な営農を実現し、地域農業及び農村の維持・活性化を図る。
- ・防火水槽を設置することにより、水量不足を解消し、初期消火と延焼防止が可能となり、安全性の高い生活環境が構築される。

西潟ノ内地区 水利施設等保全高度化事業

全体事業費 1,215,000千円
R4予算額 334,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）64.6%

- ・松江市最大の農業地域である古江・生馬地区に位置している本地区は、昭和42年から昭和53年にかけて区画整理、用排水施設の整備を実施し、担い手への農地集積は73%と高い状況にあるが、宍道湖との標高差がないことからポンプによる排水が主であり、機能低下や老朽化による排水施設の施設管理（水管理）労力の増加により、中心経営体の規模拡大の障害となっている。このため排水施設の整備、ICT化を行うことにより水管理を省力化し、中心経営体へのさらなる農地集積・集約を図る。

【事業箇所】

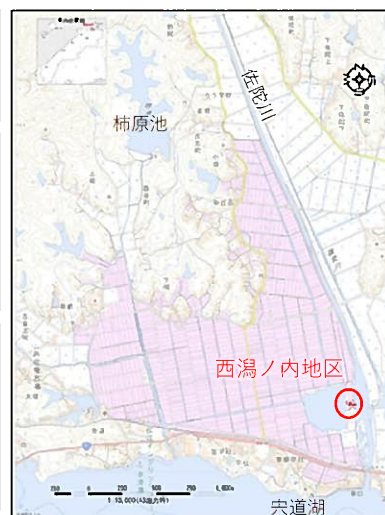
松江市西浜佐陀町、古志町

【事業計画】

平成30年度～令和5年度
・排水機場更新 1箇所

【令和4年度事業内容】

- ・樋門 一式
- ・ポンプ製作据付 一式



下部工



排水機場建屋

【期待される整備効果】

- ・近年の突発的な豪雨等へも対応できるよう老朽化した排水施設の整備による機能回復、ICT化による水管理の省力化が図られる。
- ・排水条件を改善することで地区内の中心経営体への農地集積・集約が期待される。併せて用排水施設管理を中心経営体へ一元化し、地区全体の作付計画の調整を中心経営体間で行うことで、適切な用排水管理が実現する。

西谷上地区 農業競争力強化農地整備事業

全体事業費 816,451千円
R4予算額 116,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）77.6%

- ・本地区は昭和50年頃に区画整理を実施、昭和60～62年に揚水機場及び用水パイプラインを整備しているが、区画は15～20a、耕作道路も狭小なため、大型機械による営農が困難であり、農業生産法人の経営規模の拡大が困難な状況である。また、農業従事者の高齢化が進み、農業生産法人による営農を希望されていることから、**ほ場を大区画に整備し、農業生産法人へ農地の集積を図る。**

【事業箇所】

松江市西谷町

【事業計画】

平成30年度～令和6年度

- ・区画整理 17.5ha
- ・暗渠排水 17.5ha

【令和4年度事業内容】

- ・区画整理 4.6ha
- ・暗渠排水 9.2ha



整備済みの農地



揚水機場の更新



【期待される整備効果】

- ・区画や道路の拡大、用排水施設や暗渠排水の整備により、大型機械による営農が可能となり、生産コストの低減、農業生産性の向上が図られ、農業生産法人の規模拡大が期待される。
- ・農業生産法人へ農地を100%集積することにより、農業経営の安定化が図られる。

おおの

大野地区 農地中間管理機構関連農地整備事業

全体事業費 1,607,500千円
R4予算額 50,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）22.2%

- ・本地区は、昭和50年代にほ場整備を実施しているものの、区画や耕作道路が狭小であるため、大型機械の導入の妨げとなり、効率的な営農に支障をきたしている。このため、本事業の区画整理により生産性の高い農地を確保し、担い手への農地集積、高収益作物の導入により経営の安定化を図り、地域の農業競争力の強化を図る。

【事業箇所】

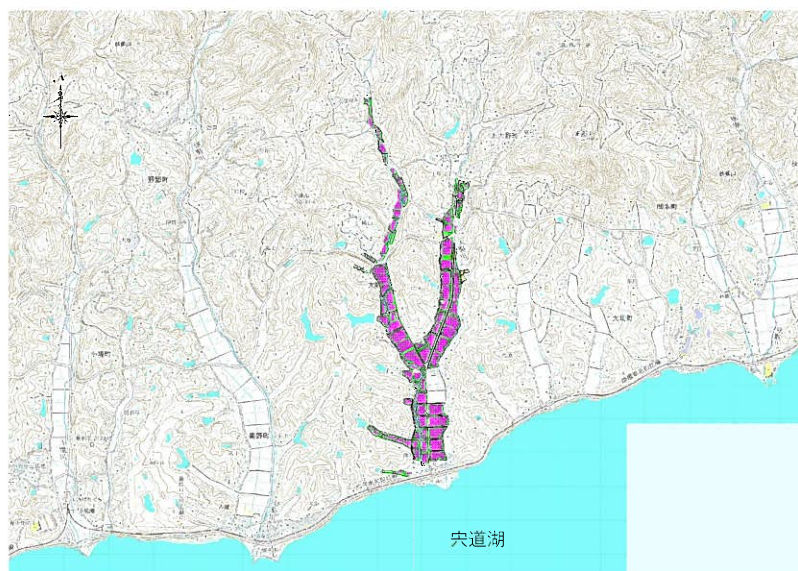
松江市大野町、上大野町

【令和4年度事業内容】

区画整理 A=3.1ha

【事業計画】

- 令和3年度～令和8年度
- ・区画整理 A=57.8ha



狭幅な道路（全幅2.0m）



狭小な農地

【期待される整備効果】

- ・農地の大区画化（30a→1ha）、耕作道路の整備により大型機械の導入が進むことで、営農コストの削減が期待できる。
- ・水田の汎用化対策を行うことで、高収益作物を導入することができ経営の安定化を図ることができる。

吉田地区 農業競争力強化農地整備事業

全体事業費 1,538,900千円
R4予算額 10,000 千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）94.8%

- ・本地区は昭和 30年頃に施工した12a区画であり、区画内は狭小な耕作道路しかなく営農に支障をきたしている。用水路も用排兼用の土水路のため維持管理に多大な労力を費やしている。また、兼業農家が主体であり高齢化により担い手不足が進行している状況である。

【事業箇所】

安来市下吉田町、上吉田町

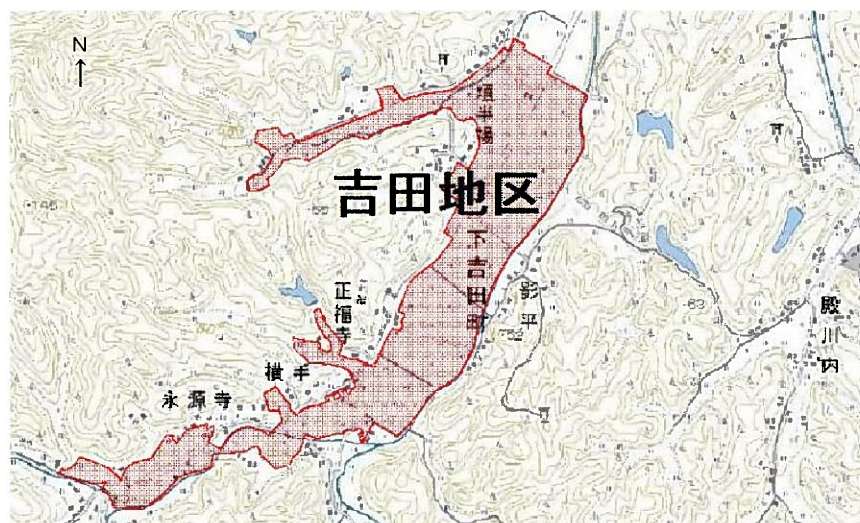
【令和4年度事業内容】

区画整理 A=一式

【事業計画】

平成29年度～令和5年度

- ・区画整理 A=44.3ha



【期待される整備効果】

- ・ほ場の大区画化、農業用排水施設等の整備を実施し、農業機械の大型化へ対応できる基盤整備を行うことで効率的な営農が期待できる。
- ・事業を契機に設立される農地所有適格法人への農地集積を図り、営農を円滑に実施することで、本地域の農業競争力の強化を図る。

うかしょうだいさん

宇賀荘第三地区 農業競争力強化農地整備事業

全体事業費 3,692,400千円
R4予算額 613,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）73.5%

担い手への農地集積・集約化を図りつつ、生産効率を高め、高収益作物の導入・拡大等を図る農地の大区画化・汎用化等を推進することで、競争力のある農業の実現を目指しています。

【事業箇所】

安来市宇賀荘町外

【事業計画】

平成29年度～令和7年度
区画整理 91.8ha
暗渠排水工 86.4ha

【令和4年度事業内容】

区画整理 10.4ha



【期待される整備効果】

- ・ 農業者の減少が急速に進む中で、事業を契機に設立した農事組合法人（新たな担い手）に農地を集積することにより、農業の生産基盤である農地を維持し、荒廃農地の発生を未然に防ぐことが期待されます。
- ・ 同時に大型機械等の導入が可能な農地の大区画化や排水対策、水管理の省力化等を可能とするパイプライン化等の基盤整備を進めることにより、生産コストの大幅な削減が期待されます。
- ・ 地下かんがい施設の整備により農地の汎用化を進めることで、より収益性の高い農業（水田園芸）の取組拡大が期待されます。

しもやまさ

下山佐地区 農地中間管理機構関連農地整備事業

全体事業費 420,600千円
R4予算額 140,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）72.5%

農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者の費用負担や同意を求めない農地の大区画化等の基盤整備を実施することで、担い手への農地の集積・集約化を加速化し、競争力のある農業の実現を目指しています。

【事業箇所】

安来市広瀬町下山佐

【事業計画】

令和元年度～令和6年度
区画整理 16.5ha
暗渠排水工 10.3ha

【令和4年度事業内容】

区画整理 6.6ha



【期待される整備効果】

- ・ 農業者の減少が急速に進む中で、事業を契機に設立した農事組合法人（新たな担い手）に農地を集積することにより、農業の生産基盤である農地を維持し、荒廃農地の発生を未然に防ぐことが期待されます。
- ・ 同時に大型機械等の導入が可能な農地の大区画化や排水対策、水管理の省力化等を可能とするパイプライン化等の基盤整備を進めることにより、生産コストの大幅な削減が期待されます。
- ・ 暗渠排水等の整備により農地の汎用化を進めることで、より収益性の高い農業（水田園芸）の取組拡大が期待されます。

こそし

古曽志地区 農地中間管理機構関連農地整備事業

全体事業費 1,580,800千円
R4予算額 504,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）34.3%

農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者の費用負担や同意を求めない農地の大区画化等の基盤整備を実施することで、担い手への農地の集積・集約化を加速化し、競争力のある農業の実現を目指しています。

【事業箇所】

松江市古曽志町

【事業計画】

令和2年度～令和7年度

区画整理 44.3ha

暗渠排水工 44.3ha

【令和4年度事業内容】

区画整理 1式（暫定）



【期待される整備効果】

- ・地域の優良な担い手への農地集積・集約化を進めることにより、農業の生産基盤である農地を維持し、荒廃農地の発生を未然に防ぐことが期待されます。
- ・同時に大型機械等の導入が可能な農地の大区画化や排水対策、スマート農業（自動走行農機等）に対応した基盤整備を進めることにより、生産コストの大幅な削減が期待されます。
- ・基盤整備を進めることで、より収益性の高い農業（水田園芸）取組拡大が期待されます。

ほ場整備を契機とした非農用地の創出と農業・観光・福祉が連携して行う地域づくり - 安定的な営農経営を核とした複合産業化による次世代に繋がる郷づくり -

ほ場⑦

やすぎ

【島根県安来市】

農業競争力強化農地整備事業【飯梨地区】

事業概要：区画整理 206.4ha

総事業費：6,770,百万円

予定工期：R4～13

R 4 事業：240百万円 区画整理等実施設計1式

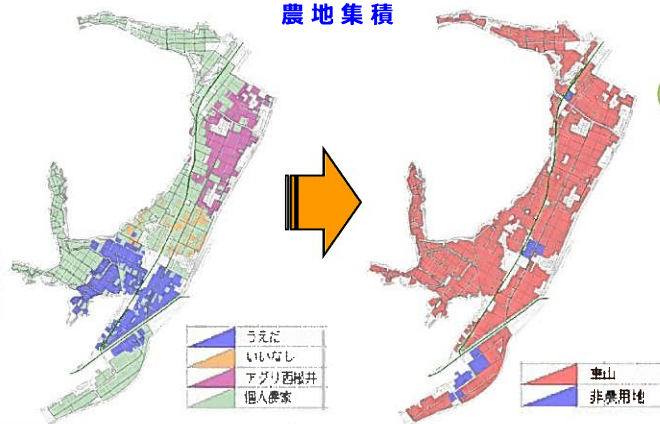
島根県安来市



ポイント

- ・ほ場整備を契機に立ち上げる営農組織に**全ての農地を集積**して生産コストを低減。汎用化された農地で、キャベツやタマネギなど**高収益作物を生産拡大**。
- ・創出した非農用地で**農家レストラン（地産地消）**や**産直市も開催できる美術館駐車場**等を整備予定。
- ・**複合産業化**（農福連携による6次産業化及び足立美術館やさぎの湯との連携）により地域の活性化を図る。・・・周遊・滞在による農村体験

農地集積

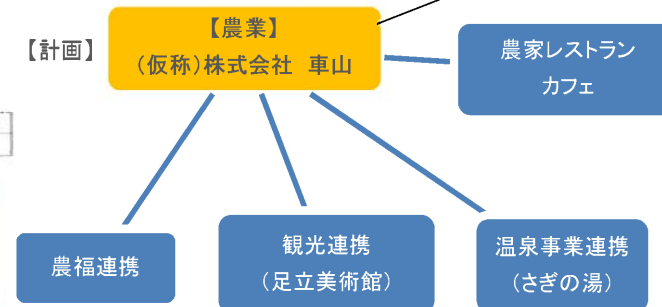


現在は、（農）うえだ、（農）いいなし、（農）アグリ西松井が事業区域内の約4割を集積し、残り6割は個人農家による営農が行われているが、その多くは高齢化による離農が懸念されるため、事業導入を契機に既存法人を含め、営農組織の一本化により営農効率の向上を図るとともに、高収益作物の導入し、持続可能な農業体系の確立を目指す

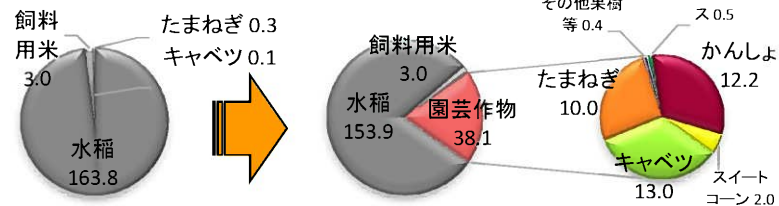
【現況】



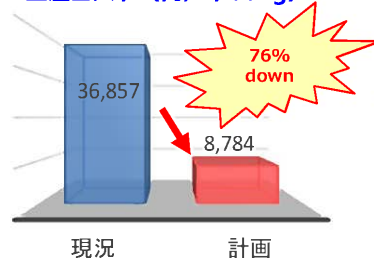
【計画】



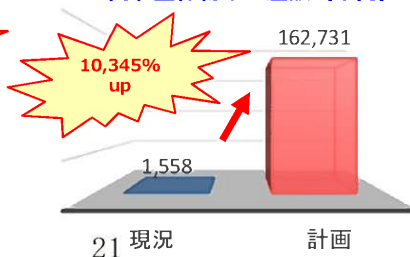
営農計画 (ha)



生産コスト (円/米60kg)



高収益作物の生産額 (千円)



★地域の将来像【構想】

事業を契機に（仮称）株式会社 車山を立ち上げ、事業実施後、100%農地集積を図る。そして、営農経営の安定化を図るため、高収益作物であるキャベツ、タマネギ等の栽培に取り組み、農業所得の向上を目指す。

営農組織は集落営農にとどまらず株式会社化し、飯梨地域の各方面（他産業）と連携して発展的且つ安定的な営農活動を行う。

- ・福祉施設 ×農福連携
- ・足立美術館×観光農業（田園風景の活用、美術館駐車場の産直市利用など）
- ・さぎの湯 ×温泉熱利用による施設園芸（イチゴ、ぶどう、メロン）

井頭2号地区 農村地域防災減災事業

全体事業費 353,200千円
R4予算額 50,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）74.7%

- 井頭2号ため池は、老朽化に伴う堤体からの漏水及び取水施設の破損により貯水が危険な状態であること及び豪雨・大地震が発生した場合に決壊する危険性が高いことから、本事業によりため池の改修を行います。

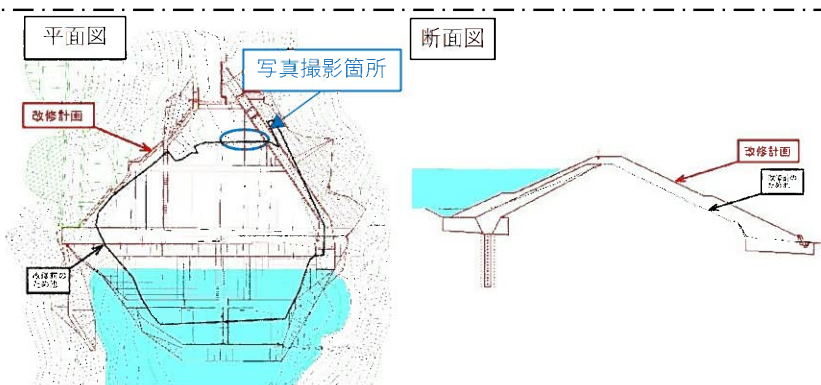
【事業箇所】

松江市玉湯町布志名



【事業計画】

令和元年度～令和5年度(予定)
堤体工
(H=10.4m L=71.1m) 1 式
取水施設
(斜樋・底樋) 工 1 式
洪水吐工 1 式
管理用道路工 1 式



堤体下流側の漏水状況



○部拡大写真



□部拡大写真



【令和4年度事業内容】

附帯工 一式

【期待される整備効果】

- 本事業で井頭2号ため池の異常気象時の安全性の向上と農業用水の安定的な貯水・取水が可能となり、下流域の保全や農業生産の維持が図られます。

寺領地区 農村地域防災減災事業

全体事業費 173,400千円
R4予算額 38,000千円

事業進捗率（R3末時点） 35.3%

【事業概要】

- 寺領ため池は上池と下池からなる親子ため池ですが、取水施設の埋没により農業用水の取水が困難な状態であること及び豪雨・大地震が発生した場合に決壊する危険性が高いことから、本事業により改修を行います。

【事業箇所】

松江市竹矢町



【令和4年度事業内容】

上池堤体工 一式

【事業計画】 寺領上池

令和3年度～令和4年度

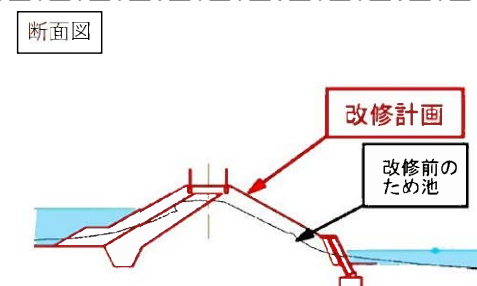
堤体工

(H=4.4m L=61.0m) 1 式

取水施設

(斜樋・底樋) 工 1 式

洪水吐工 1 式



【事業計画】 寺領下池

令和5年度～令和6年度

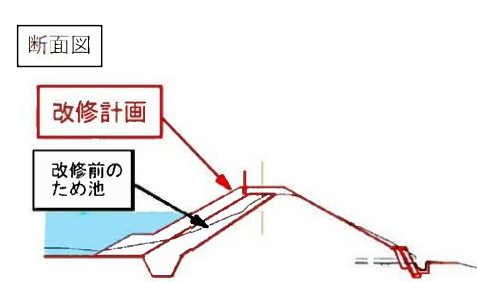
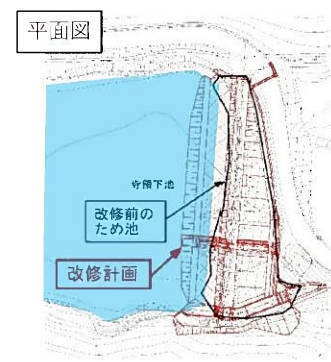
堤体工

(H=4.8m L=59.0m) 1 式

取水施設

(斜樋・底樋) 工 1 式

洪水吐工 1 式



【期待される整備効果】

- 本事業で寺領ため池の耐震化並びに農業用水の安定的な取水が可能となり、下流域の保全や農業生産の維持が図られます。

おおさと

大郷地区 農村地域防災減災事業

全体事業費 833,400千円
R4予算額 100,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）69.0%

- ・大郷農道は伯太町峠之内と広瀬町宇波をつなぎ、周辺集落の連携を図る道路です。
- ・本道路は、豪雨等で過去に幾度となく法面の小崩壊が発生し、かつ道幅も狭いため、**緊急時の避難路としての利用に不安の声**があり、また、**小型車両で農作物を輸送する**事を余儀なくされています。
- ・本事業で**道路の拡幅工事を行う**ことによって、**緊急避難路としての活用**がなされるとともに中型車両の走行が可能になり**輸送コストの削減**が図られます。

【事業箇所】

安来市伯太町峠之内

【事業計画】

- ・ H28～R6
- ・ L=1823m
- ・ 農道改良

【R4年度事業内容】

- ・ 橋梁上部工 1橋
- ・ 附帯工 1式



既存橋梁（幅員狭小）



近傍農道での法面崩壊事例



【期待される整備効果】

- ・ 道路を拡幅することにより、緊急時の避難路、効率的な農作物輸送に活用されることが期待されます。

農地地すべり対策の推進

全体事業費 1,088,500千円
R4予算額 16,700千円

【事業概要】

- ・地すべり防止区域内での地すべり現象の防止並びに既存の地すべり防止施設の長寿命化を図ります。

【地すべり対策事業実施箇所】

松江地区（令和3年度～令和7年度）

今年度内容：調査解析 1式

【長寿命化事業実施箇所】

松江東地区（令和2年度～令和6年度）

今年度内容：詳細設計 1式

松江南地区（令和3年度～令和7年度）

今年度内容：詳細設計 1式

安来地区（令和3年度～令和7年度）

今年度内容：詳細設計 1式

松江北地区（令和4年度～令和8年度）

今年度内容：詳細設計 1式

地表水排除工（排水路）



地下水排除工（集水井）



抑止工（杭工 施工中）



斜面改良工（法枠工）



【期待される整備効果】

- ・写真に示す地すべり対策工事の実施により、人家、農地、道路その他の公共施設を地すべり被害から守ります。
- ・既存の地すべり防止施設を計画的に補修することにより、地すべり防止効果の長期持続を図ります。

山地災害対策の推進（治山事業）

R3補正予算額 166,000千円
R4予算額 218,900千円

【事業概要】

・保安林の公益的機能（水源かん養・災害防備）の維持・向上を図るために治山事業を推進します。

【R3補年度実施箇所】

<復旧治山>

別上地区 谷止工

田頼地区 測量設計1式

<緊急予防治山>

下岡南地区 山腹工

灘組地区 山腹工

長海地区 測量設計1式、山腹工

【R4年度実施箇所】

<復旧治山>

田頼地区 谷止工、山腹工

<緊急予防治山>

幸町地区 山腹工

長海地区 山腹工

<保安林整備>

美保関地区、広瀬地区、伯太地区、
銅道地区 植栽、下刈、本数調整伐、除伐

<林地荒廃防止>

福浦地区 山腹工

日白地区 山腹工

新十神地区 測量設計1式



谷止工



山腹工（法枠工）



山腹工（落石防護柵）



保安林整備

【期待される整備効果】

- ・谷止工や山腹工により、人家、道路、その他の公共施設を山地災害から保全します。
- ・保安林整備により災害に強い健全な保安林を育成します。

上来待線 林業専用道整備事業

全体事業費 940,000千円
R3補正・R4 予算額 80,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R3末時点）3.7%

- ・ 上来待線は、松江市穴道町白石の林道堅田線から穴道町上来待の地方主要道玉湯・吾妻山線を結ぶ林業専用道です。林業専用道は、主に森林施業に利用し、10t積トラック等の走行を考慮した道です。
- ・ 当該区域は路網が未整備であり原木搬出等にコストがかかるため、本路線の開設により作業コスト軽減につながります。

【事業箇所】

松江市穴道町上来待

【事業計画】

- ・ H30～R9
- ・ W=3.5m
- ・ L=8,200m
- ・ 林業専用道開設

【R4年度事業内容】

- ・ 開設 L=231m



終点部



開設状況



【期待される整備効果】

- ・ 10t積トラックによる原木搬出が可能になり、木材生産の低コスト化が図られ、林業の生産性が向上します。

防災訓練（風水害）の実施

危機管理①

梅雨・台風等に備え、集中豪雨による大規模災害発生を想定した防災訓練を実施

開催日時：令和4年5月31日（火） 13:05～16:40

訓練概要：○豪雨災害時における初動体制の確保、職員一人一人の役割分担を明確化し、関係機関との連携の下、災害対応能力の向上を図る
○被災状況の情報収集が、迅速に実施されるかを検証する
○建設業協会会員各社と連携し、情報伝達訓練及び被災状況確認を実施する
○UTMグリッド座標管内図を使用し被災位置を特定する

被災想定：国道・県道（崩土、路肩崩壊）、河川（護岸倒壊）、山崩れ（土砂災害）、ため池（法面崩壊）等

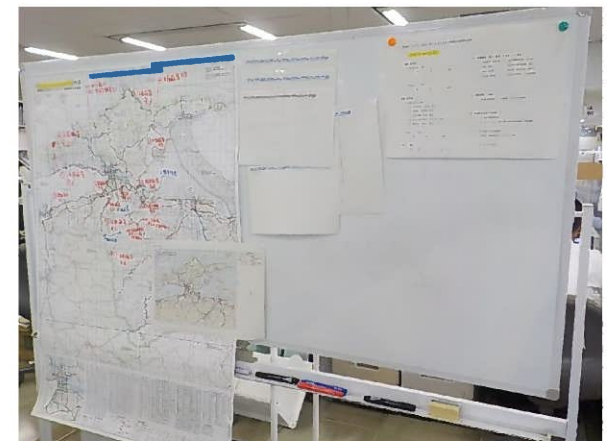
参加団体：松江地区建設業協会・協会会員各社、安来建設業協会・協会会員各社
松江県土整備事務所、広瀬土木事業所、宍道湖流域下水道事務所

その他：コロナ対策の為、人の接触を最小限にし、訓練を行いました

令和3年7～8月に発生した災害を教訓に実践的な訓練としました



【訓練】松江県土整備事務所内会議 開催状況



【訓練】状況把握ボード

下半期には、地震を想定した訓練を行います

意宇川（水位周知河川）における合同点検

危機管理②

梅雨末期・台風等に備え、松江市と共に合同で河川点検を実施

開催日時：令和4年6月20日（月） 13:30～16:30

場所：意宇川河口付近（松江市竹矢町）～上流（松江市八雲町熊野）

点検概要：○重要水防区域、危険箇所の確認
○河川の状況確認
○水位計・量水標・TVカメラの設置状況等の確認
○水防倉庫資材の確認

参加団体：松江市防災部・都市整備部・東出雲支所・消防本部
松江県土整備事務所
(15名)



水防倉庫資材の保管状況確認



神納橋（八雲町）量水標確認



河口付近（竹矢町）



出雲郷橋下流付近（竹矢町）



八雲大橋上流付近（八雲町）



青木橋下流付近（八雲町）